

事業仕分けの結果・その後の状況（H22年度）

年度No.	事業名	仕分け結果		検討結果	その後の対応
H22-1	消防団活動事業	①不要		団員や分団活動の実態把握に努め、必要な助言・指導を行う。 役割は、装備品や活動範囲・内容等を考慮し、検討する。 消防署の町内設置は難しい。	消防団の火災出動、訓練、啓発活動は、各分団とも毎年50件を超えており消火活動をはじめ様々な防災活動をおこなっている。 町内の消防署設置が難しい現状で装備品等はまだまだ不十分であり、更なる充実が求められている。
		②民間等			
		③国・県	1		
		④町継続(改善)	5		
		⑤町継続(現行)			
H22-2	鳥取中部ふるさと広域連合負担金(滞納整理)	①不要		鳥取中部ふるさと広域連合の滞納整理部門体制の機能強化について、中部地区地方税等徴収対策推進協議会で検討中である。	広域連合の体制と役割の見直しをH24年度行う予定である。 国税OBを非常勤の徴収職員として採用した。
		②民間等			
		③国・県			
		④町継続(改善)	6		
		⑤町継続(現行)			
H22-3	町観光協会補助金	①不要		町民の方にも、観光協会のイベント等を広く紹介し、参加していただくよう努める。 民間だからこそできる「商取引き」等を積極的に取り入れる団体となるよう、事務局を役場から切り離すよう関係者と協議する。	H23年度から観光協会に「北栄町観光推進員」を配置し、協会運営を行っている。
		②民間等	4		
		③国・県			
		④町継続(改善)	2		
		⑤町継続(現行)			
H22-4	放課後児童クラブ運営事業	①不要		利用料を上げるには、内容の充実が伴わないと利用者の理解は得られないため、現行どおりとする。 大栄分館の変更はしないが、設備等の環境は改善する。 指導員の資質向上のため研修を行う。	H23年度から利用料の改定を行った。 研修により指導員に必要な専門的知識及び指導技術の習得を図っている。 設備等の環境改善を実施した。
		②民間等	1		
		③国・県			
		④町継続(改善)	4		
		⑤町継続(現行)	1		
H22-5	介護予防地域支え合い事業	①不要		いきいきサロンはさらに充実させていく。 生きがい活動支援通所事業は現在のところ廃止は困難である。ただし、内容を検討する。	両事業ともより介護予防に有効な事業として実施できるようにする。
		②民間等			
		③国・県			
		④町継続(改善)	5		
		⑤町継続(現行)	1		
H22-6	町営住宅管理事業	①不要		民間住宅の斡旋等、必要な対応を検討する。 北栄町の住宅困窮内容を調査し、福祉部門との連携、民間空家の活用、民間資本の活用等を考慮した供給計画の作成を行う。	各団地とも耐用年数まで残り数年となっている。 2戸1の住宅については耐用年数以降原則払い下げを、集合住宅については建替えか民間住宅の借上げや家賃補助などの活用を検討している。
		②民間等	3		
		③国・県			
		④町継続(改善)	3+1		
		⑤町継続(現行)			
H22-7	震災に強いまちづくり事業	①不要	3+1	「耐震改修促進計画」の推進を行う必要があるため、事業廃止することは適当ではない。 耐震対策への意識向上を図るため、地域学習会の実施や無料診断制度の導入を検討する。	耐震改修の必要性のPRを行うとともに、地域学習会や無料診断制度を実施している。
		②民間等			
		③国・県	1		
		④町継続(改善)	2		
		⑤町継続(現行)			
H22-8	30人学級職員配置協力金	①不要		学校においても実施することは効果があると考えていることから、県基準の小学校1・2年、中学校1年だけでなく、全学年を対象として少人数学級編成を実施したい。	平成24年度からは、県が少人数学級を全学年での実施をはじめました。町では、学校現場や保護者からの要望もあり、県基準と町基準をもとに少人数学級を継続して実施しています。
		②民間等			
		③国・県	3+1		
		④町継続(改善)	2		
		⑤町継続(現行)	1		